

平成 1 2 年

## 国勢調査地域メッシュ報告書

～ 平成2年から10年間の変化 ～

平成19年（2007年）3月

大阪府総務部統計課



## ま え が き

近年の社会・経済情勢の複雑・多様化に伴い、諸施策・諸業務の企画立案には、各地域・分野の実態を的確に把握する必要性が高まっており、統計情報についても、より詳細な地域別統計データが求められています。

地域メッシュ統計は、このような需要に応えるため、市区町村などの行政区域よりも細分化した小地域に関する統計データを編集したものであり、地域開発、都市計画、道路計画、防災計画、公害対策、生活環境整備等の基礎資料として、幅広く利用されています。

本府におきましては、これまでから、国勢調査、事業所・企業統計調査、商業統計調査及び工業統計調査に関する地域メッシュ統計を作成し、統計データの整備・充実に努めているところです。

このたび作成した本報告書は、平成12年国勢調査結果について、平成2年国勢調査からの10年間における人口総数及び世帯数の変化を地域メッシュ統計として編集したものであり、多方面における各種計画策定等の一助となれば幸いです。

おわりに、本報告書の作成にあたりご協力いただきました関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成19年3月

大阪府総務部統計課長 馬上 保男

## 利用上の留意点等

### 1 「平成 12 年 国勢調査地域メッシュ報告書 ～平成 2 年から 10 年間の変化～」について

#### (1) 作成方法

大阪府で作成しました平成 12 年国勢調査に関する地域メッシュ統計（平成 15 年 9 月公表）及び平成 2 年国勢調査に関する地域メッシュ統計（平成 6 年 7 月公表）のデータを使用し、編成しました。

#### (2) 地域メッシュ区画について

1 辺が約 500m の「分割地域メッシュ（2 分の 1 地域メッシュ）」により作成しています。

本報告書で単純に「メッシュ」と記載している場合は、「2 分の 1 地域メッシュ」を意味しています。

分割地域メッシュ等の参考資料については、「地域メッシュ統計の概要」に掲載していますので、ご参照ください。

#### (3) 測地系について

日本測地系に基づき編成された地域メッシュ区画を採用しています。

### 2 利用に当たっての留意点

(1) 平成 12 年又は平成 2 年に人口（世帯）が存在するメッシュについて掲載しています。（大阪府（全地域）では 4,933 メッシュです。）

(2) ひとつのメッシュに複数の地域がかかる場合、そのメッシュはそれぞれの地域に含めて集計しています。したがって、地域ごとのメッシュ数を合計すると、大阪府（全地域）より多くなります。（例：平成 12 年の大阪府（全地域）の人口が存在するメッシュ数は 4,824 メッシュですが、8 地域の合計は 5,194 メッシュとなっています。）

(3) ひとつのメッシュに複数の地域がかかる場合、そのメッシュ内の人口総数と世帯数はそれぞれの地域に均等に振り分けています。（例：人口総数が 300 名のメッシュに 3 地域がかかる場合、各地域に 100 名ずつ居住するとしています。）

各地域に含まれる市町村については、2 ページの「参考地図 大阪府の市町村図」をご参照ください。

### 3 本報告書の WEB サイトへの掲載について

本報告書の内容については、全文を大阪府の WEB サイト「大阪府の統計情報」に掲載しています。

<http://www.pref.osaka.jp/toukei/index.htm>

(参 考)

( 1 ) 測地系とは

地球上の位置を経度・緯度で表すための基準を測地基準系(測地系)といい、地球の形に最も近い回転楕円体で定義されています。経度・緯度は、この回転楕円体(地球楕円体)の上で表示されています。

( 2 ) 日本測地系(旧測地系)について

個々の土地の経度・緯度が精度良く、効率的に求められるように、位置の目印になる基準点を全国に多数設置し、測量によってこれらの基準点の経度・緯度を求めています。この基準点の位置を表す経度・緯度の数値を測地基準点成果といいます。従来、我が国は、明治時代に5万分の1地形図を作るために決定した回転楕円体(いわゆるベッセル楕円体)を位置の基準としており、測地基準点成果もこの回転楕円体に基づく値が求められ使用されてきました。この従来使用されてきた測地基準系を日本測地系といいます。

( 3 ) 世界測地系(新測地系)について

電波星を利用したVLBI(数十億光年のかなたにある電波星から届く電波を電波望遠鏡で受信して数千kmもの長距離を数mmの高精度で測る技術)観測や人工衛星観測により現代の科学的知識に基づいて設定された、世界共通に使える測地基準系を世界測地系といいます

( 4 ) 日本測地系と世界測地系のずれについて

日本測地系で表されている日本国内のある地点の経緯度を世界測地系で表すと、経度が-の方向へ、緯度が+の方向へ変化します。このずれを距離に換算すると、日本国内においては約400~450m程度となっています。

(参照)

総務省統計局「日本測地系と世界測地系」

(<http://www.stat.go.jp/data/mesh/08-5.htm>)

# 目 次

メッシュ地図	1
結果について	13
1 結果の概要	15
(1) 人口総数が増減したメッシュ数	15
(2) 世帯数が増減したメッシュ数	15
(3) 人口総数の増減と世帯数の増減の関係	16
2 人口総数(世帯数)区別の構成と推移	18
(1) 平成12年のメッシュ数と人口総数	18
(2) 平成12年のメッシュ数と世帯数	19
(3) メッシュ数の推移：人口総数	20
(4) メッシュ数の推移：世帯数	22
3 人口総数(世帯数)の増減でみる結果	24
(1) 平成12年の人口総数区別にみる増減	24
(2) 平成12年の世帯数区別にみる増減	28
(3) 平成2年からの人口総数増減区別にみる増減	32
(4) 平成2年からの世帯数増減区別にみる増減	34
地域メッシュ別統計表	37
地域メッシュ統計の概要	89
1 地域メッシュ統計の特質	91
2 地域メッシュの区分方法	92
(1) 標準地域メッシュ及び標準地域メッシュ・コードの体系	92
(2) 地域メッシュ・コードの付け方	94